



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 加藤製作所
 コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 小西 二郎
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3458-1130

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	18,039	△6.7	392	△69.9	361	△77.2	39	△95.7
2019年3月期第1四半期	19,334	△5.9	1,304	51.3	1,583	35.8	906	11.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △489百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 669百万円 (△38.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	3.35	—
2019年3月期第1四半期	77.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	129,047	57,438	43.6
2019年3月期	125,557	58,496	45.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 56,278百万円 2019年3月期 57,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	47.50	—	47.50	95.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	47.50	—	47.50	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,000	8.8	1,400	△45.9	1,400	△54.5	600	△70.1	51.20
通期	87,000	1.9	2,600	△41.7	2,700	△43.7	1,500	△50.6	128.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	11,743,587 株	2019年3月期	11,743,587 株
2020年3月期1Q	25,923 株	2019年3月期	25,863 株
2020年3月期1Q	11,717,709 株	2019年3月期1Q	11,717,997 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善を背景に雇用環境も堅調に推移し、緩やかな回復基調にあると言われておりますが、その実感に乏しく依然として不透明な状況となっております。また、米中貿易摩擦が深刻化し、中国経済の成長鈍化などが日本経済へ影響を及ぼす懸念も強まってきました。

このような状況下、当社グループといたしましては、「収益性の向上」「事業規模の拡大」「人材育成」「技術力の強化・革新」「業務プロセス改革」を基本戦略とした「中期経営計画 2019-2021」を今年度よりスタートさせております。この基本戦略のもと、業績ならびに企業価値の向上に取り組んでおります。

また、坂東工場の新設により部品供給体制を整備するとともに、横浜工場から群馬工場への移設を行い、本年7月より稼働させ、生産体制の効率化に努めております。

なお、非連結子会社であった KATO IMER S.p.A. と KATO EUROPE B.V. は、重要性が増したことにより当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は180億3千9百万円(前年同期比93.3%)となり、前年同期を下回りました。損益につきましては、販売した製品ミックスの変化による原価率の悪化や、工場再編による移転費用の発生により、営業利益は3億9千2百万円(前年同期比30.1%)、経常利益は3億6千1百万円(前年同期比22.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3千9百万円(前年同期比4.3%)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

① 日本

国内向けの建設用クレーンは、小型機種の販売に注力したことで売上高は前年同期並みとなり、海外向けの建設用クレーンは、インドネシアなどへの出荷遅れや、東南アジアを中心とした販売減少により、売上高は大幅に減少しました。油圧ショベル等は、国内レンタル会社の需要が増加したものの、海外向けは横浜工場の移転に伴い生産遅れが発生し、油圧ショベル等の売上高は減少しました。よって、日本の売上高は149億4千5百万円(前年同期比90.7%)となり、セグメント損失は2億6千1百万円(前年同期はセグメント利益5億4千3百万円)となりました。

② 中国

中国の油圧ショベル等は、経済成長の鈍化によりインフラ投資の伸び率が縮小したことで売上高は減少しました。売上高は31億9千2百万円(前年同期比84.0%)となり、セグメント利益は6億8千2百万円(前年同期比97.3%)となりました。

③ その他

トラッククレーンを製造・販売しているタイの KATO WORKS(THAILAND)CO., LTD. は売上高が徐々に増加し、ミニショベル等を製造・販売しているイタリアの KATO IMER S.p.A. 及び建設用クレーンや油圧ショベル等を販売するオランダの KATO EUROPE B.V. を連結子会社として加えたことで、売上高は9億6千2百万円(前年同期は売上高1億9千万円)となり、セグメント損失は1億6千8百万円(前年同期はセグメント損失3千7百万円)となりました。

主要品目別売上高の状況は次のとおりであります。

① 建設用クレーン

国内は、オペレータ不足や中古市場の低迷が続いていますが、小型機種の販売に注力したことで売上高は前年同期並みとなりました。国内建設用クレーンの売上高は91億5千7百万円(前年同期比100.5%)となりました。海外は、インドネシアなどへの出荷遅れや、東南アジアを中心とした販売減少により、売上高は大幅に減少しました。海外建設用クレーンの売上高は9億7千6百万円(前年同期比54.9%)となりました。よって、建設用クレーンの売上高は101億3千4百万円(前年同期比93.1%)となりました。

② 油圧ショベル等

国内の油圧ショベル等の売上高は、前年同期からほぼ横ばいの28億7百万円(前年同期比98.4%)となりました。海外は、中国経済の成長鈍化によりインフラ投資の伸び率が減少したこと、また、横浜工場の移転に伴い生産遅れが発生したことで売上高は減少しました。海外油圧ショベル等の売上高は48億1千3百万円(前年同期比90.0%)となりました。よって、油圧ショベル等の売上高は76億2千万円(前年同期比92.9%)となりました。

③ その他

国内のその他製品は、路面清掃車や万能吸引車等は前年同期並みとなり、売上高は2億円(前年同期比98.4%)となりました。海外のその他製品は、売上高は8千3百万円(前年同期比223.0%)となりました。その他の売上高は2億8千4百万円(前年同期比117.8%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末の1,255億5千7百万円に比べて34億9千万円増加し、1,290億4千7百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少4億7千4百万円、たな卸資産の増加42億5千1百万円、有形固定資産の増加29億3千4百万円、受取手形及び売掛金の減少26億6千4百万円によるものであります。

(負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末の670億6千万円に比べ45億4千8百万円増加し、716億8百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加6億7千1百万円、電子記録債務の減少12億8千6百万円、短期借入金の増加21億3千9百万円、流動負債のその他に含まれる未払費用の増加7億9千8百万円及び長期借入金の増加16億1千5百万円によるものであります。

(純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末の584億9千6百万円に比べ10億5千8百万円減少し、574億3千8百万円となりました。これは主として、利益剰余金の減少6億7百万円及び為替換算調整勘定の減少5億7千2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました、第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,255	13,780
受取手形及び売掛金	42,917	40,253
たな卸資産	42,556	46,808
その他	2,409	1,602
貸倒引当金	△4,143	△3,977
流動資産合計	97,995	98,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,305	11,189
機械装置及び運搬具（純額）	2,341	3,160
土地	6,021	6,043
建設仮勘定	1,024	2,590
その他（純額）	551	1,195
有形固定資産合計	21,243	24,178
無形固定資産		
	756	772
投資その他の資産		
投資有価証券	2,082	1,864
破産更生債権等	2,850	2,849
繰延税金資産	2,423	2,708
その他	1,012	1,013
貸倒引当金	△2,808	△2,807
投資その他の資産合計	5,560	5,628
固定資産合計	27,561	30,580
資産合計	125,557	129,047

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,644	10,315
電子記録債務	15,445	14,159
短期借入金	4,600	6,740
1年内償還予定の社債	1,880	1,880
1年内返済予定の長期借入金	5,142	5,330
未払法人税等	490	247
賞与引当金	736	376
製品保証引当金	1,092	1,114
その他	4,014	5,862
流動負債合計	43,047	46,027
固定負債		
社債	2,660	2,470
長期借入金	20,419	22,035
退職給付に係る負債	607	663
その他	325	411
固定負債合計	24,013	25,580
負債合計	67,060	71,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	45,480	44,872
自己株式	△38	△38
株主資本合計	55,487	54,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	46
為替換算調整勘定	1,980	1,407
退職給付に係る調整累計額	△60	△55
その他の包括利益累計額合計	1,980	1,398
非支配株主持分	1,029	1,160
純資産合計	58,496	57,438
負債純資産合計	125,557	129,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	19,334	18,039
売上原価	15,962	15,343
売上総利益	3,371	2,695
販売費及び一般管理費	2,067	2,303
営業利益	1,304	392
営業外収益		
受取利息	5	3
割賦販売受取利息	58	39
受取配当金	10	44
持分法による投資利益	5	14
為替差益	48	—
貸倒引当金戻入額	87	52
製品保証引当金戻入額	98	—
その他	45	99
営業外収益合計	359	254
営業外費用		
支払利息	54	55
為替差損	—	190
その他	24	38
営業外費用合計	79	284
経常利益	1,583	361
特別損失		
固定資産除却損	7	—
工場移転費用	—	120
特別損失合計	7	120
税金等調整前四半期純利益	1,576	240
法人税、住民税及び事業税	304	184
法人税等調整額	320	△35
法人税等合計	624	148
四半期純利益	951	92
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	906	39

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	951	92
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△14
為替換算調整勘定	△287	△572
退職給付に係る調整額	7	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△282	△582
四半期包括利益	669	△489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	644	△556
非支配株主に係る四半期包括利益	25	66

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった KATO IMER S. p. A. 及び KATO EUROPE B. V. は重要性が増した
ことにより、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(当社の持分法適用関連会社である光陽精機株式会社における不適切行為について)

前連結会計年度に、当社の持分法適用関連会社である光陽精機株式会社において、出荷していた免震・制振用オイル
ダンパーの一部について、性能検査記録データの書き換え行為により、顧客の基準値を外れた製品を出荷していた事実
が判明いたしました。

今後発生が見込まれる当該事案の対策費用について、四半期連結決算上現時点で、合理的な見積りが可能な範囲で引
当計上を行っております。なお、当該事案の今後の進捗次第では、追加で引当計上を行うことにより、当社の連結業績
に影響を及ぼす可能性があります。現時点でその影響額を合理的に見積もることが困難であるため、四半期連結財務
諸表に反映しておりません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	日本	中国	その他 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	15,344	3,799	190	19,334	—	19,334
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,134	0	—	1,134	△1,134	—
計	16,478	3,799	190	20,468	△1,134	19,334
セグメント利益又は損失(△)	543	701	△37	1,207	96	1,304

(注) 1 連結子会社KATO WORKS (THAILAND) CO., LTD. にかかわるものを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去80百万円及びセグメント間
未実現利益消去16百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	日本	中国	その他 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	13,889	3,189	960	18,039	—	18,039
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,055	3	1	1,060	△1,060	—
計	14,945	3,192	962	19,100	△1,060	18,039
セグメント利益又は損失(△)	△261	682	△168	252	139	392

(注) 1 タイ、イタリア及びオランダにかかわるものを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去81百万円及びセグメント間未実現利益消去57百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。